

令和6年度

県営土地改良事業計画書

区画整理事業

都道府県名	福岡県
地区名	釈迦堂
所在地	大牟田市
事業主体	福岡県

目

次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	2
第 3 章	現 況	3
第 1 節	気 象 及 び 海 象	3
1	一 般 気 象	3
2	特 殊 気 象	3
3	海 象	4
第 2 節	土 地 状 況	4
1	地形、土壌及び浸食の程度	4
2	土 地 分 類	6
3	土地利用の状況	7
4	土地所有の状況	8
第 3 節	水 利 状 況	9
1	用 水 状 況	9
2	排 水 状 況	13
3	河 川 状 況	16
第 4 節	道 路 現 況	17
1	道 路 概 況	17
2	主要道路一覧表	17
第 5 節	地域農業の概況	18
1	産業別就業人口	18

2	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	19
3	動力農機具及び主要家畜頭数	19
4	主要作物作付状況	20
5	農 業 の 動 向	21
第 6 節	地域環境の概況	22
第 4 章	一 般 計 画	23
第 1 節	事業計画の要旨	23
1	要 旨	23
2	事 業 別 面 積	23
第 2 節	営農計画及び土地利用計画	24
1	営農計画の概要	24
2	土地利用区分	25
3	作 付 方 式	26
4	生 産 計 画	27
5	労働改善計画	28
6	級地別土地利用区分	29
7	土地配分計画	30
第 3 節	用 水 計 画	30
1	計 画 基 準 年	30
2	計画かんがい方式	30
3	計画用水系統	30
4	計 画 用 水 量	31
5	水 源 計 画	33

第4節	排水計画	38
1	計画基準雨量	38
2	計画排水方式	38
3	計画排水系統	38
4	計画排水量	39
5	排水対策	40
6	湛水検討	42
第5節	道路計画	43
1	道路及び索道	43
2	路線配置図	44
第6節	農用地造成計画	45
1	農用地造成計画	45
2	土壌改良	45
第7節	洪水調節計画	46
1	計画基準雨量	46
2	計画洪水量及び調節量	46
3	貯水池	46
4	洪水調節検討	47
5	管理計画	47
第8節	干拓計画	48
第9節	農用地整備計画	49
1	区画整理	49
2	暗渠排水	51
3	客土	52
4	農地保全	53
第10節	老朽ため池改修計画	54
1	洪水吐改修計画	54
2	堤体補強計画	54

3	取水施設改修計画	55
第5章	主要工事計画	55
第1節	用水施設	55
1	貯水池	55
2	頭首工	56
3	揚水機	57
4	用水路	58
5	その他かんがい施設	59
第2節	排水施設	60
1	排水水門	60
2	排水機	60
3	排水路	61
4	その他排水施設	61
第3節	道路及び索道	62
1	道路	62
2	索道	64
第4節	農用地造成	65
1	農用地造成	65
2	土壌改良	68
第5節	洪水調節施設	69
1	貯水池	69
2	頭首工及び導水路	69
第6節	干拓施設	70
1	堤防	70
2	潮止め	70
3	附属施設	71
4	埋立	71

第 7 節	農用地整備施設	71	1	評 価 の 方 法	81
1	区 画 整 理	71	2	清 算 の 方 法	81
2	暗 渠 排 水	73	第 5 節	換地計画樹立の年度計画	81
3	客 土	74	第 6 節	換地処分の時期に関する特則	81
4	除 礫	74	第 10 章	事業費の総額及び内訳	82
5	農 地 保 全	75	第 11 章	効 用	82
第 8 節	老朽ため池改修施設	76	第 12 章	関 連 す る 事 業	83
1	貯 水 池	76	第 13 章	現 況 ・ 計 画 図 面	83
2	堤 体 補 強 施 設	76	1	現 況 平 面 図	83
第 6 章	附 帯 工 事 計 画	77	2	計画平面図及び土地利用計画図	83
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	77	3	主 要 構 造 図	83
第 8 章	環境との調和への配慮	77			
第 9 章	換地計画の概要	78			
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	78			
第 2 節	換 地 区 の 設 定	78			
1	換地区の名称、所在、面積	78			
2	換地区を設定する理由	78			
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	78			
1	従前の土地の地積の基準	78			
2	用途別予定地積	79			
3	農用地集団化の方針	80			
4	非農用地換地の方法	80			
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	81			

第1章 目 的

農業生産の基盤である耕地の区画形質の改善、用排水路、農道、暗渠排水の整備及び農用地の集団化を一体的に実施し、将来の農業生産を担う効率的かつ安定的な担い手を育成する。
農業所得の安定と優良農地を将来にわたり適切に維持、保全し活力のある農村の建設と安定した農業生産の基礎の確立を目的とする。

第2章 地 域 及 び 地 積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
区画整理事業	福岡県大牟田市大字宮崎外

第2節 地 積

(令和 6 年 12月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田	輪換耕地	畑	宅地	山林原野	その他	計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区 画 整 理 事 業	大 牟 田 市	12.5	-	0.8	-	-	2.9	16.2	
	計	12.5	-	0.8	-	-	2.9	16.2	
	計								
	計								
	計								
	計								
	計								
合 計		12.5	-	0.8	-	-	2.9	16.2	

第3章 現 況

第1節 気 象 及 び 海 象

1. 一 般 気 象

(第3表－1)

観測所名		大牟田観測所		かんがい期		非かんがい期		計 又 は 平 均		備 考	
観測期間		昭和51年～平成29年		6月～10月		11月～5月					
平 均 気 温 (° C)				20.3 ° C		10.7 ° C		(年平) 15.8 ° C			
降 水 量	平 均		(mm)	597 mm		666 mm		1,263 mm			
	基 準 年		(mm)	906 mm		487 mm		1,393 mm		用水計画基準年 … 平成12年	
降水日数	平 均		(日)	68		72		140			
	基 準 年		(日)	77		124		201		用水計画基準年 … 平成12年	
根 雪 期 間				－ 月 － 日 ～ － 月 － 日		－ 日間					
無 霜 期 間				－ 月 － 日 ～ － 月 － 日		－ 日間					
最 多 風 向				N		最 大 風 速 (風向)		21 m/s (－)		最多風向発生時期 9 月 最大風速発生年月日 1991 年 9 月 14 日	

2. 特 殊 気 象

(第3表－2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
大 牟 田 観 測 所																
観 測 期 間																
昭和51年～平成29年	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	
最 大 日 雨 量 (mm)	300.0	H28	1/24	299.0	H2	1/24	299.0	S56	1/24	294.0	H30	1/22	271.0	H13	1/14	
最 大 時 間 雨 量 (mm)	99.0	S56	1/00	76.0	H2	1/14	75.0	H25	1/13	73.0	H26	1/11	72.0	H28	1/10	
最 大 4 時 間 雨 量 (mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最 大 連 続 雨 量 (mm)	623.5	S28	1/85	599.0	S60	1/70	497.0	S54	1/25	477.5	S55	1/20	421.0	H13	1/12	
最 大 連 続 干 天 日 数 (日)	44	H28	1/300	33	H6	1/24	30	S59	1/13	30	H25	1/13	29	S52	1/11	

3. 海 象 (第3表－3)									
観測所名	既 往 最 高 位 潮	さ く 望 平 均 位 満 潮	上 下 弦 平 均 位 満 潮	平 均 潮 位	上 下 弦 平 均 位 干 潮	さ く 望 平 均 位 干 潮	既 往 最 低 位 潮	備 考	
観測期間	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)		
実 測 値	()	該当なし					()		

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表－1－1)

事業名	地 目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備 考
	傾 斜 区 分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最 高	最 低	
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°						
区画整理事業	面 積 (ha)	—	12.5	—	—	—	12.5	0.8	—	—	—	—	—	—	0.8	25.39	9.95	
	比 率 (%)	—	100.0	—	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	100			
	面 積 (ha)																	
	比 率 (%)																	
合 計	面 積 (ha)	—	12.5	—	—	—	12.5	0.8	—	—	—	—	—	—	0.8	25.39	9.95	
	比 率 (%)	—	100.0	—	—	—	100	100	—	—	—	—	—	—	100			

(第4表－1－2)

項目 土壤統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備考
	土 壤 断 面							堆積様式	母 材	事 業 名				
	色	腐 植	礫層	酸 化 沈澱物	土 性					泥炭層・黒泥層 及びグライ層	区画 整理 事業		計	
					表 土	下 層 土								
					一 層	二 層	三 層							
グライ土壤群粘土型 (E-42)	7.5YR	含量	小礫	—	C	C	CL	なし	—	—	9.1		9.1	調査地点 No. 1
灰褐色土壤群粘土質滴俺型 (G-61)	5Y	含量	巨歴 小礫	—	CL	CL	CL	なし	—	—	4.2		4.2	調査地点 No. 2
計											13.3		13.3	

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ浸食の程度		備 考
		0	0 ～ 25%	25% ～ 50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
農地保全	面 積 (ha)				該 当 な し							
	比 率 (%)											

2. 土地分類

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計	備 考	
		一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
			※	3° ～8°	8° ～12°	12° ～15°	※	15° ～20°	20° ～25°	25° ～30°	※			30° 以上
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
該 当 な し													※は 傾斜以外の要 因によるもの	
計														

(第4表-2-2)

市町村名	級位別	干 拓					備 考
		一 級 地	二 級 地	三 級 地	四 級 地	計	
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
				該 当 な し			
計							

3. 土地利用の状況

(令和 6 年 12 月現在) (第4表－3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕地							山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園その他 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区画整理事業	大牟田市	12.5	-	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	16.2	
	計	12.5	-	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	16.2	
	計														
	計														
合 計		12.5	-	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	16.2	

4. 土地所有の状況

(令和 6 年 12 月現在) (第4表-4)

事業名	所 有 別	個 人 有				計	備 考
	区 分						
区 画 整 理 事 業	面 積 (ha)	13.3				13.3	
	受 益 者 数 (人)	60				60	
	筆 数 (筆)	250				250	
	権 利 関 係	所有権					
	備 考 (関係戸数)						
	面 積 (ha)						
	受 益 者 数 (人)						
	筆 数 (筆)						
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)						
合 計	面 積 (ha)	13.3				13.3	
	受 益 者 数 (人)	60				60	
	筆 数 (筆)	250				250	
	権 利 関 係	所有権					
	備 考 (関係戸数)						

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統

別紙現況用水系統模式図参照 (P9-1)

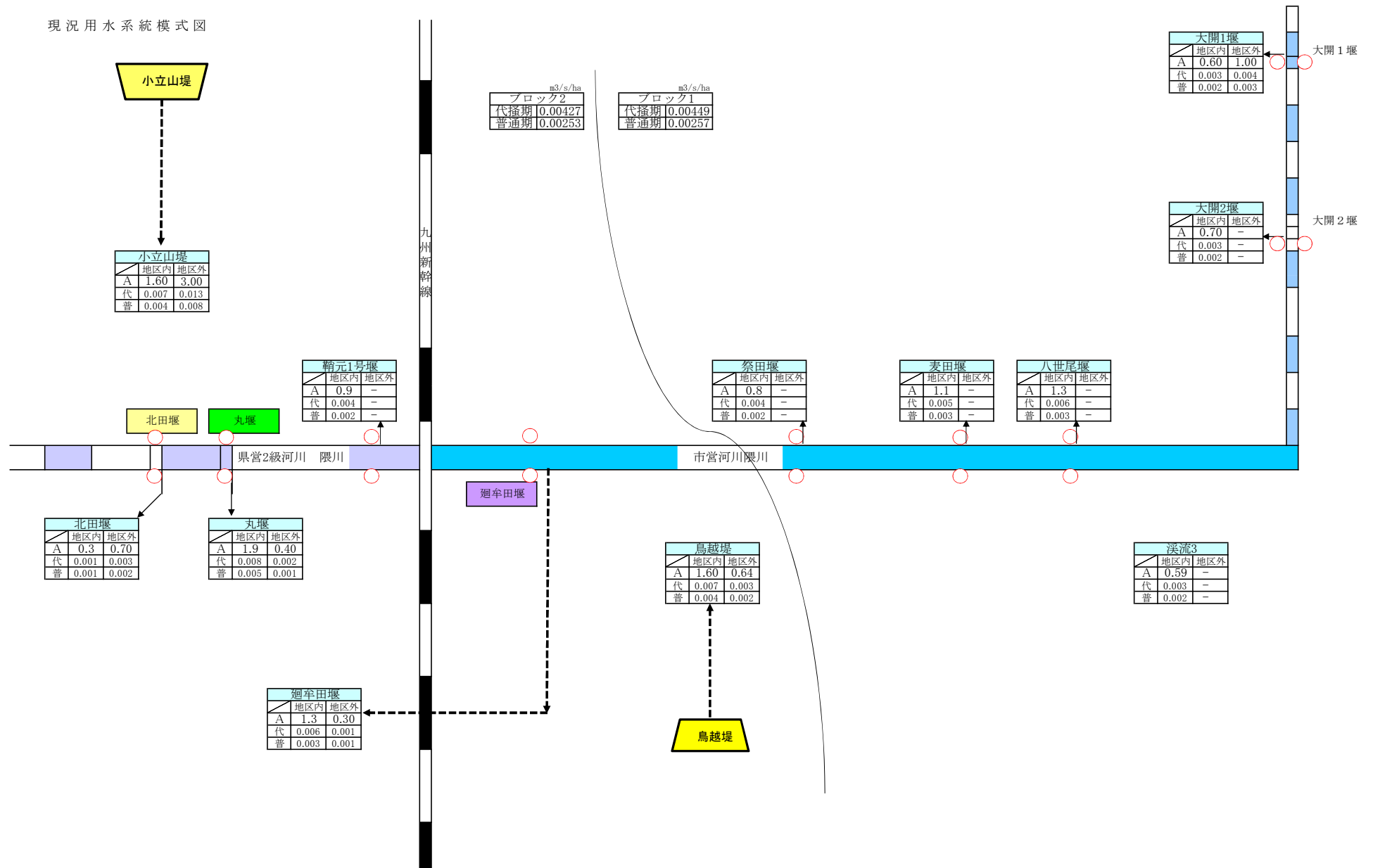
(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500ha 以上		500ha ～ 100ha		100ha 未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/S	箇所	m³/S	m³/S	
区画整理事業	貯 水 池	-	-	-	-	2	3.1	2	3.1	-	-	1	0.014	0.014	
	井 堰	-	-	-	-	9	8.8	9	8.8	-	-	2	0.040	0.040	
	自 然 取 入 口	-	-	-	-	1	0.6	1	0.6	-	-	-	-	-	
	揚 水 機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	12	12.5	12	12.5	-	-	3	0.054	0.054	
	貯 水 池														
	井 堰														
	自 然 取 入 口														
	揚 水 機														
	そ の 他														
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計		-	-	-	-	12	12.5	12	12.5	-	-	3	0.054	0.054	

現況用水系統模式図



(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模 (m)	新 設 年 又 は 更 新 年 月 日	改修を必要とする理由	備 考
	施設名							
	貯 水 池							
	井 堰							
	自 然 取 入 口							
	揚 水 機							
	用 水 路							
	そ の 他							
	計							
	貯 水 池							
	井 堰							
	自 然 取 入 口							
	揚 水 機							
	用 水 路							
	そ の 他							
	計							
	貯 水 池							
	井 堰							
	自 然 取 入 口							
	揚 水 機							
	用 水 路							
	そ の 他							
	計							
合 計		0	0		0			

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項 目 系 統 名	かんがい 面 積 (ha)	現 況 必要水量 (千m³)	不 足 水 量				平均減産量 (t)		備 考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平 均 (m³/s)	基 準 年 (m³/s)	平 均 (千m³)	基 準 年 (千m³)			
			該当なし							
	計									
	計									
	合 計									

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時 期 別	かんがい 面 積 (ha)	水 温 (℃)		水 質	被 害 量 (t)	備 考
			最高	最低			
					該当なし		

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	池名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考
		水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	一般・公共施設	その他	計	
	計	-	-		-							
	計	-	-		-							
						該当なし						
	計	-	-		-							
	計	-	-		-							
	計	-	-		-							
	計	-	-		-							
	計	-	-		-							
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

2. 排水状況

(1) 排水系統

別紙現況排水系統模式図参照 (P13-1)

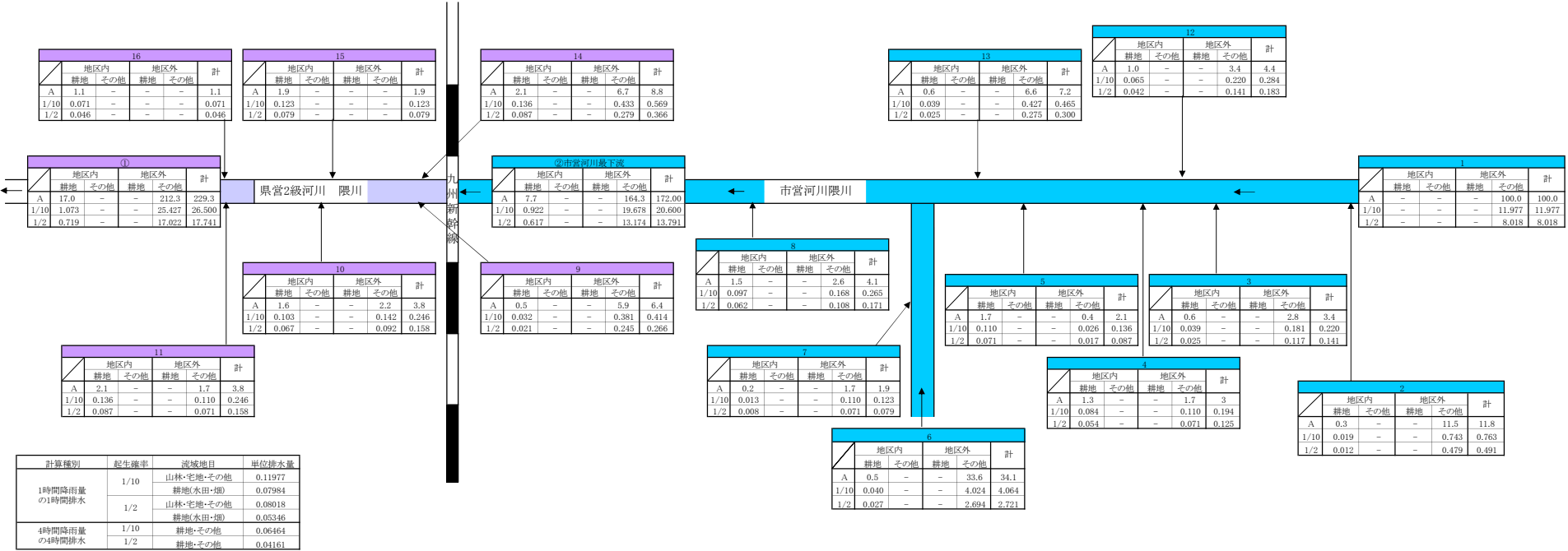
(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
			500ha 以上		500 ～100ha		100ha 未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
区画整理事業	自然	排水路	-	-	16	16.20	-	-	16	16.2	17.741	26.500	
		水門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計		-	-	16	16.2	-	-	16	16.2	17.741	26.500	
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計			-	-	16	16.2	-	-	16	16.2	17.741	26.500	

現況排水系統模式図



(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表－5)

事業名	項目 施設名		施設名 又は 個所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模 (m)	新 設 年 又 は 更 新 年	改修を必要とする理由	備 考
区画整理事業	自然	排水路	35	13.3	土水路等	3,865	不明	区画整理の為	
		水 門	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	
		水 門 及 び 排 水 機	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	
	計		35	13.3	-	3,865	-	-	
	自然	排水路							
		水 門							
	機械	排水機							
		水 門 及 び 排 水 機							
		排水路及び排水機							
	計		-	-	-	-	-	-	
	自然	排水路							
		水 門							
	機械	排水機							
		水 門 及 び 排 水 機							
		排水路及び排水機							
	計		-	-	-	-	-	-	
合 計			35	13.3	-	3,865	-	-	

(3) 排水に関する被害状況

(第5表－6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深	湛水時間	湛水面積	湛水量	田		畑		その他		作物名	減産量	
					(cm)	(hr)	(ha)	(千m ³)	乾	湿	乾	湿	乾	湿		(t)	
			平均														
			基準年				該当なし										
			平均														
			基準年														
計			平均														
			基準年														

3. 河川状況

(1) 河川の状況

(第5表－7)

項 目 河川名	流 路 状 況	勾 配	断 面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備 考
市営河川隈川	組石積み蛇行	1/82	5.2m ²	20.2	17.1	

(2) 洪水に関する被害状況

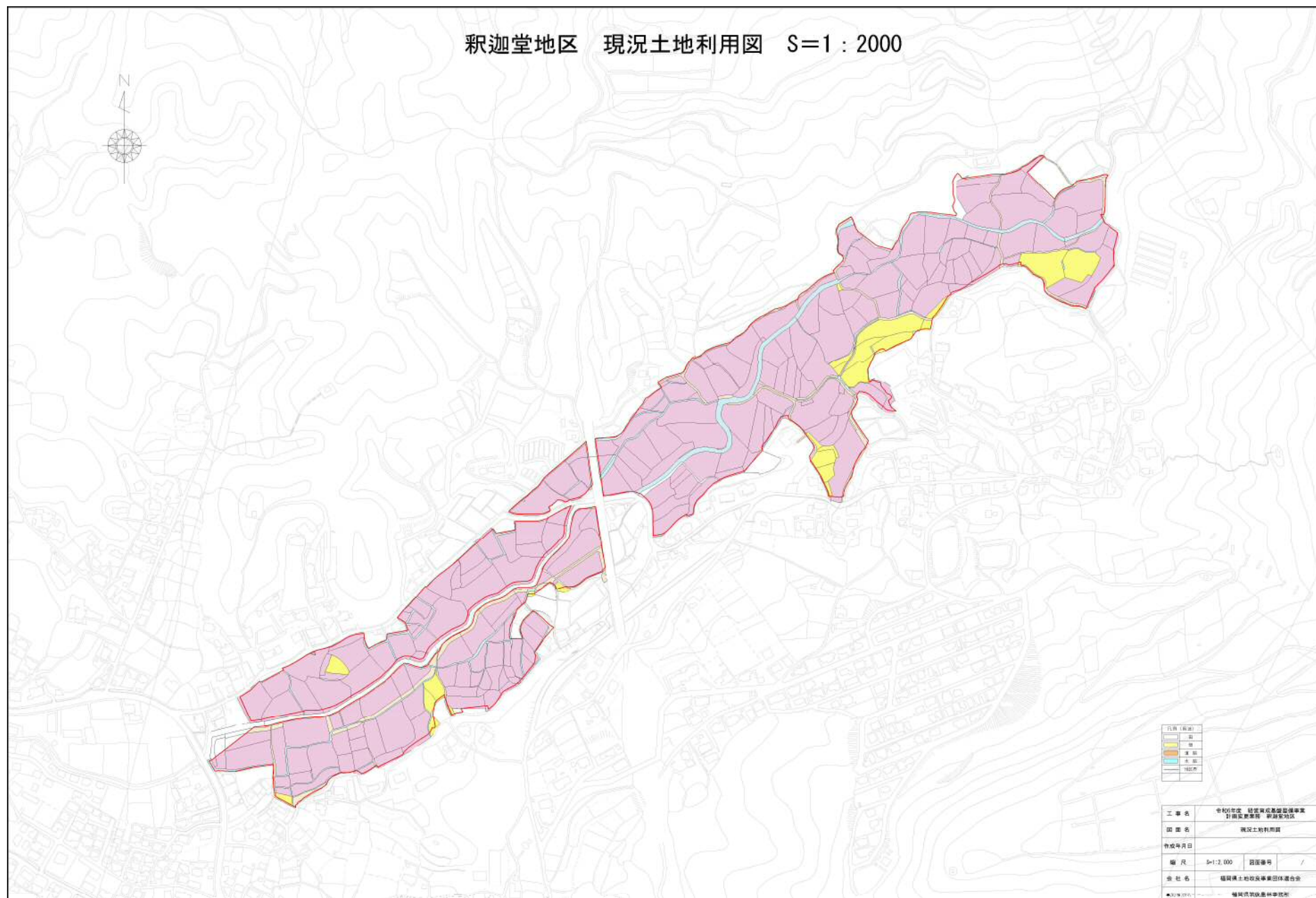
(第5表－8)

項 目 区 分	農 用 地 (百万円)	農 用 施 設 (百万円)	作 物 (百万円)	公 共 施 設 (百万円)	備 考
過 去 の 最 大 被 害 額		該 当 な し			
平 均 被 害 額					

1. 道路概況

2. 主要道路一覽表

[illegible]



第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表－1)

項 目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 ガ ス 熱 供 給 水 道 業 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	卸 売 小 売 業 飲 食 店 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
大牟田市	47,898	862	3	122	11	4,143	7,704	288	2,353	7,694	869	590	19,761	1,525	1,973	第64次 福岡農林水産統 計年報
計	47,898	862	3	122	11	4,143	7,704	288	2,353	7,694	869	590	19,761	1,525	1,973	
比 率 (%)	100	1.8	0.0	0.3	0.0	8.6	16.1	0.6	4.9	16.1	1.8	1.2	41.3	3.2	4.1	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区 分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕 地 の 分 散 状 況		専兼業別農家数 (戸)			備 考
		受 例 外 規 定 の 適 用 を	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家 ha	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1戸 当 た り 団 地 数	団 地 当 た り 面 積 (ha)	専 業	兼 業		
			～ 0.5	～ 1.0	～ 1.5	～ 2.0	～ 3.0	～ 5.0	～ 10.0	～ 20.0	第一種											第二種		
大牟田市	537	9	93	139	50	20	16	19	13	4	1	173	1.34	0.18	0.60	2.12	－	2.12	－	－	173	42	149	
計	537	9	93	139	50	20	16	19	13	4	1	173	1.34	0.18	0.60	2.12	－	2.12	－	－	173	42	149	
比 率 (%)	100.0	1.7	17.3	25.9	9.3	3.7	3.0	3.6	2.4	0.7	0.2	32.2	63.2	8.3	28.5	100.0	－	100.0	－	－	47.5	11.6	40.9	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項 目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考
	動力田植機		トラクター		コンバイン				乳用牛		肉用牛		採卵鶏		ブロイラー		
	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (100羽)	戸 数 (戸)	数 量 (100羽)	戸 数 (戸)	
大牟田市	236	224	341	268	215	195			X	3	X	3	-	-	2,300	3	第64次 福岡農林水産 統計年報
計	236	224	341	268	215	195	-	-	X	3	X	3	-	-	2,300	3	
100戸当たり数量(台、頭)	105		127		110		-								76,667		2015 農林業センサス
利用戸数割合 (%)	32.6		39.0		28.4		-		33.3		33.3		0.0		33.3		

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名			大 牟 田 市						計	平 均	作 付 率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)			1,070						1,070			
総 本 地 面 積 (ha)												
区 分			作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量		
作物名			(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(%)	
田	表 作	水 稻	333	495					333	495	31.1	第64次 福岡農林水産 統計年報
		大 豆	111	130					111	130	10.4	
	裏 作	大 麦	74	306					74	306	6.9	
		小 麦	192	211					192	211	17.9	
	小 計		710						710		66.3	
畑	春夏作											
	秋冬作											
小 計												
樹園地												
	小 計											
計			710						710		66.3	
市町村別延べ作付率 (%)			66.3						66.3			

5. 農業の動向

(第7表－5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大 家 畜			動力農機具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)		
変化の 状 況 (C年 を100 とする 指数)	総 農 家 数	75	59	耕 地	92	69	水 稻	97	95	乳 用 牛	101	X	トラクター	78	60	農業振興地域	A:2015年
	専 業 農 家 数	88	79	田	94	68	麦 類	117	110	肉 用 牛	X	X	動力田植機	80	56		B:2010年
	第 一 種 兼 業 農 家 数	59	39	畑	97	79	豆 類	122	169	採 卵 鶏	X	X	コンバイン	72	52		C:2005年
	第 二 種 兼 業 農 家 数	71	51	樹 園 地	82	71				ブロイラー	91	89					(農林業センサス)
	農 業 従 事 者 数	70	51														
変化の 理 由	後継者の減少及び高齢化等に伴い、農家数は減少傾向にある。			都市化の進展に伴う転用及び農家数の減少により、耕地は減少傾向にある。			生産組織や担い手農家等への作業受委託をし、大型機械化体系から大豆は増加している。			農家規模縮小のため、家畜飼育頭数は減少傾向にある。			土地基盤整備の進展に伴い、生産組織や担い手農家等への作業受委託が進んでいることにより、動力農機具は減少傾向にある。				

第6節 地域環境の概況

1. 植物、動物等生態系の概要

(植物)

ツクシキケマン、アオイゴケ※4

(鳥類)

ハヤブサ※3、チュウヒ※1、オオタカ※4、ミサゴ※4、コチョウゲンボウ※4、チョウゲンボウ※4、コミミズク※3、トビ

(両生類)

カスミサンショウウオ※3、アカハライモリ※4

(昆虫)

コオイムシ※4、コムラサキ※3、クロセセリ、ミカドアゲハ、カバマダラ、ミズカマキリ※4、ガムシ※4、ヒメハンミョウ、ナナフシ、サツマニシキ、オオミノガ※3、ベニツチカメムシ※4、ヘイケボタル※3

※1 福岡県レッドデータブック 絶滅危惧ⅠA類

※2 福岡県レッドデータブック 絶滅危惧ⅠB類

※3 福岡県レッドデータブック 絶滅危惧Ⅱ類

※4 福岡県レッドデータブック 準絶滅危惧

参考文献『大牟田市田園環境整備マスタープランH15.4』より本地区に隣接する黒崎公園一帯ゾーンの生物を記載。

絶滅危惧の種類は、福岡県レッドデータブック2011のランクで記載。

2. その他地域環境の概要

本市は、福岡県南部筑後平野の南端、福岡市から70km圏に位置しています。東は熊本県南関町、西は有明海、南は熊本県荒尾市、北は福岡県みやま市と接し、東西14.06km、南北10.75kmにわたる、市域面積約8,155haを行政区域としています。

農業振興地域としては、本市の東部と北西部に位置し、水系や営農形態により「北西部地区」「北東部地区」及び「南部地区」に区分しています。「北西部地区」は白銀川水系に属する甘木・伏部地域に平坦な水田が広がり、岬・唐船・昭和開は干拓事業による海を干陸化し、大規模区画の水田が整備された大規模経営が可能な地域となっています。また、「北東部地区」は、本市の北東部に位置し、隈川水系に属する釈迦堂から倉永にかけて平坦な水田、県道南関大牟田線の北部訪稻荷山鹿と鳥ヶ谷地区の樹園地と白銀川水系の平坦な水田を活用した営農が営まれています。さらに、「南部地区」は、本市の南東部に位置し、三池山の裾野に展開する水田や樹園地、県道大牟田植木線が横断する玉川地区の水田と樹園地を活用した農業が営まれています。

自然条件としては、本市の東部は、三池山(388m)、大間山(225m)からなる丘陵性山地をなしており、西部の有明海に向かって平坦な地形となっています。北部は、甘木山(123m)から黒崎にかけて丘陵地を形成し、これらの谷間に、隈川、堂面川、大牟田川、諏訪川の4河川4水系と堂面川の支流である白銀川が東部丘陵から有明海に注ぎ、臨海部は干潟があります。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

農地の区画形質の改善、用排兼用水路の用排分離、農道計画等の整備を行い、農地の荒廃、耕作放棄地の防止と共に高収益農業や施設野菜を集団化、団地化し効率的で安定した農業経営を目指し、国土保全と地域の活性化を図る。

2. 事業別面積 (第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	区画整理事業																					計	備考
	水	輪	普	牧	果	そ	小	水	普	牧	果			小	水	普	牧	果			小		
	田	換	通	草	樹	の	計	田	通	草	樹	(ha)	(ha)	計	田	畑	畑	園	(ha)	(ha)	計		
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区 画 整 理	11.3	-	0.8	-	-	4.1	16.2															16.2	
計	11.3	-	0.8	-	-	4.1	16.2															16.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本市の農業は、都市化の進展に伴う農業就業人口の減少、兼業化及び農業従事者の高齢化など農業を取り巻く環境は大きく変化し、地域の活力低下の課題を抱えています。これらの影響から遊休農地の増加と耕作放棄地の増加が進行するものと予測されます。

このため、本市農業の振興を図るためには新規作物の導入、担い手の育成、農地の有効利用を積極的に推進し、消費者ニーズにあった安全・安心・新鮮な農産物の生産・販売・加工等の技術を確立する必要があります。

そこで、農道・用排水路等の整備を行い、農用地の環境改善や将来の地域農業の担い手への農地の集約化・機械の共同利用を推進し農業生産の低コスト化を図ります。

2. 土 地 利 用 区 分

(第9表－1)

事業名	土地利用区分 区分	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)	山 原 林 野 (ha)	非農用地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
区画整理事業	現 況	12.5	－	0.8	－	－	－	－	13.3	－	－	2.9	16.2	
	計 画	11.3	－	0.8	－	－	－	－	12.1	－	－	4.1	16.2	
	現 況													
	計 画													
	現 況													
	計 画													
計	現 況	12.5		0.8	－	－	－	－	13.3	－	－	2.9	16.2	
	計 画	11.3		0.8	－	－	－	－	12.1	－	－	4.1	16.2	

3. 作 付 方 式

(第9表－2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分		1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
区画整理事業	現況	田	表					水稻	○—○—△				×	×						水稻	○—○—△				×	×														作付体系の表示	
								アスパラガス	○—○				×																									×	播種		
		普通畑	裏					トマト	○						×						トマト	○																	○—○		
	計画	輪換耕地	田	表					水稻	○—○—△				×	×					水稻	○—○—△				×	×													収穫		
									大豆	○						×						大豆	○																×	×	
			裏					アスパラガス	○—○					×																								×			
								トマト	○							×						トマト	○																×		
		普通畑	表																																						
			裏					小麦		×						○					小麦																	○			
														△		△					イチゴ							△		△							△		△		
普通畑	表																																								
普通畑	裏																																								

4. 生 産 計 画

(第9表－3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作 付 面 積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生 産 量 (t)			同 左 生産量の内訳 増 減 の内訳 (t)		備 考
				現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	増 減	面積増減	単 位 面 積 当 た り 収 量 増 加	
				12.8	11.8												
区画整理事業	水 田	表 作	水 稻	6.9	5.6	△ 1.3	54	47	452	502	50	31.2	28.1	△ 3.1	△ 1.3	2.4	乾田化
			大 豆	-	2.2	2.2	-	19	109	129	20	-	2.8	2.8	2.2	1.3	水管理改良
			アスパラ	0.1	1.6	1.5	1	14	3,500	3,535	35	3.5	56.6	53.1	1.5	35.4	田畑輪換
			トマト	0.1	0.1	0.0	1	1	14,559	14,996	437	14.6	15.0	0.4	0.0	-	水害(湿害)防止
		裏 作	小 麦	-	7.8	7.8	-	66	420	487	67	-	38.0	38.0	7.8	4.9	
			イチゴ	-	1.5	1.5	-	13	3,063	3,155	92	-	47.3	47.3	1.5	31.5	
		計		7.1	18.8	11.7	56	160				49.3	187.8	138.5	11.7	75.5	
	普通畑	表 作															
裏 作		高 菜	-	0.8	0.8	-	7	4,357	4,401	44	-	35.2	35.2	0.8	44.0		
計		-	0.8	0.8	-	7				-	35.2	35.2	0.8	44.0			
合 計			7.1	19.6	12.5	56	167				49.3	223.0	173.7	12.5	119.5		

5. 労 働 改 善 計 画

(第9表－4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作物面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
区 画 整 理 事 業	水田	水稻	5.6	人 力	350	125	△ 225	本地面積
				機 械	192	71	△ 121	
		大豆	2.2	人 力	258	46	△ 212	
				機 械	164	41	△ 123	
		アスパラ	1.6	人 力	9,269	8,700	△ 569	
				機 械	1,298	1,032	△ 266	
		トマト	0.1	人 力	13,563	13,104	△ 459	
				機 械	753	683	△ 70	
		イチゴ	1.5	人 力	18,572	17,897	△ 675	
				機 械	16,182	16,182	0	
		小麦	7.8	人 力	225	75	△ 150	
				機 械	186	85	△ 101	
				人 力			0	
				機 械			0	
				人 力			0	
				機 械			0	
				人 力			0	
				機 械			0	
				人 力			0	
				機 械			0	
				人 力			0	
				機 械			0	
			人 力			0		
			機 械			0		
	普通畑	高菜	0.8	人 力	1,234	680	△ 554	
				機 械	229	209	△ 20	
				人 力			0	
				機 械			0	
				人 力			0	
				機 械			0	
				人 力			0	
				機 械			0	
				人 力			0	
機 械						0		
計		19.6						
合 計				62,475	58,930	△ 3545		

6. 級地別土地利用区分

(第9表－5)

区 分 土地利用区分		農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)					合 計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑					該 当 な し						
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑 園)											
そ の 他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表－6)

区 分	項 目 配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備 考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入 植		()	()	該 当 な し			()	()	()	

第3節 用 水 計 画

1. 計 画 基 準 年 平成12年 (1/10 年 確 率)

本地区の計画基準年は、福岡管区气象台(大牟田観測所)の昭和51年～平成29年(42年間)の気象データに基づいて、かんがい期の有効雨量、連続干天日数及びかんがい期降雨量の確率計算を行い、指標の1/10年確率に相当する計画基準年を決定する。

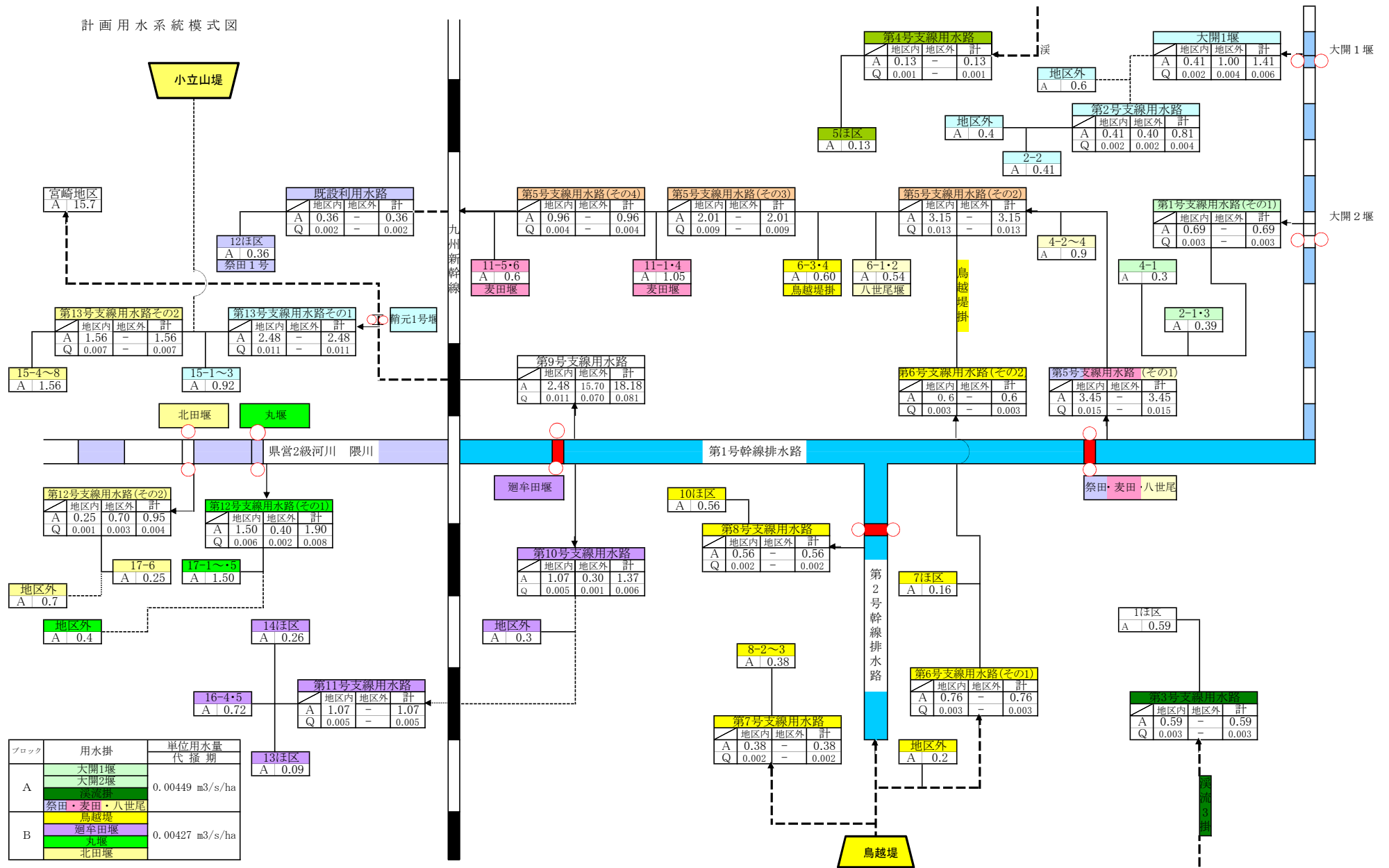
2. 計画かんがい方式

自然流下

3. 計画用水系統

別紙計画用水系統模式図参照 (P30-1)

計画用水系統模式図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名	項目別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			そ の 他		消 費 水 量 (m³/s)	損 失 率 (%)	粗 用 水 量		備 考
		事 業 名																		
		区画整理事業		計	普通 期 計画 平均 (mm/日)	代かき 期 計画 代かき (mm)	面 積 (ha)	一日 当たり 計画 平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	一日 当たり 計画 平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	単計 位面 用水 平均 量均 (mm/日)	面 積 (ha)					
大開	農業用水	1.0		1.0	18.9	150	1.0	(6) 6	6	1.0	-	-	-	-	-	0.005	15 (田) 40 (畑)	-	0.005	
溪流	〃	0.5		0.5	18.9	150	0.5	(6) 6	6	0.5	-	-	-	-	-	0.004	15 (田) 40 (畑)	-	0.004	
新八世尾	〃	3.2		3.2	18.4	150	3.2	(6) 6	6	3.2	-	-	-	-	-	0.017	15 (田) 40 (畑)	-	0.017	
鳥越堤	〃	1.6		1.6	18.6	150	1.6	(6) 6	6	1.6	-	-	-	-	-	0.016	15 (田) 40 (畑)	-	0.016	
廻牟田	〃	1.0		1.0	18.6	150	1.0	(6) 6	6	1.0	-	-	-	-	-	0.007	15 (田) 40 (畑)	-	0.007	
鞘元	〃	0.8		0.8	18.6	150	0.8	(6) 6	6	0.8	-	-	-	-	-	0.013	15 (田) 40 (畑)	-	0.013	
小立山堤	〃	1.5		1.5	18.6	150	1.5	(6) 6	6	1.5	-	-	-	-	-	0.013	15 (田) 40 (畑)	-	0.013	
丸堰	〃	1.4		1.4	18.6	150	1.4	(6) 6	6	1.4	-	-	-	-	-	0.005	15 (田) 40 (畑)	-	0.005	
北堰	〃	0.3		0.3	18.6	150	0.3	(6) 6	6	0.3	-	-	-	-	-	0.005	15 (田) 40 (畑)	-	0.005	
計		11.3	-	11.3			11.3			11.3	-	-	-	-	-		-	-		-

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区 分	利 用 目 的	対 象 面 積 (ha)			日 当 た り 給 水 量		補 給 回 数 (回)	関 係 戸 数 (戸)	備 考
		事 業 名							
				計	単位給水量 (ℓ/日)	最大給水量 (ℓ/日)			
					該 当 な し				

5. 水 源 計 画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項 目 区 分		消費 水量	有効 雨量	純用 水量	粗用 水量	現 況 利 用 可 能 水 量			不 足 水 量		水 源 依 存 量		水 源 工 種	備 考
						水 源 名	取水地点 利 用 可 能 量	ほ 場 利 用 可 能 量	純不足水量	全不足水量	水 源 名	水 量		
		a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1- α) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率: α
区画整理事業				-	-		-	-	-	-	-	-	-	$\alpha = 15\%$
				-	-		-	-	-	-	-	-	-	
				-	-		-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 用 水 対 策

(ア) 貯 水 池

(第 10 表－3)

貯水池名 項 目	流 域 面 積 (km ²)		か ん が い 面 積 (ha)			純 貯 水 量 (千m ³)	利 用 貯 水 量 (千m ³)	利 用 回 数 (回)	最 大 取 水 量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名							
	直 接	間 接	区 画 整 理 事 業		計					
鳥 越 堤	0.060	－	1.6		1.6	7.2	7.2	－	－	
小 立 山 堤	0.030	－	1.5		1.5	21.4	21.4	－	－	
計	0.090	－	3.1	－	3.1	28.6	28.6	－	－	

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取 水 量 (m ³ /s)		備 考
			事 業 名			最 大 (m ³ /s)	平 均 (m ³ /s)	
			区画整理事業		計			
大 開	市営隈川	1.20	1.0		1.0	0.003	－	－
新 八 世 尾	〃	1.70	3.2		3.2	0.015	－	－
廻 牟 田	〃	1.70	1.0		1.0	0.006	－	－
鞆 元	宮崎川	2.30	0.8		0.8	0.011	－	－
丸 堰	県営隈川	2.30	1.4		1.4	0.004	－	－
北 田 堰	県営隈川	2.30	0.3		0.3	0.004	－	－
計			7.7		7.7	0.043	－	－

(ウ) 揚 水 機

(第10表-5)

[illegible]

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m³/s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名						
	区画整理事業		計				
支線用水路	11.3		11.3	0.082	3.7	U字溝	(第2～14号支, 他)
計	11.3	—	11.3		3.7		

(オ) その他の水源施設

(3) 水 温 水 質

第4節 排 水 計 画

1. 計画基準雨量

大牟田観測所降雨資料（S51～H29 42年間）に基き確率計算により決定。

1時間雨量 71.86mm（1/10年確率）・48.11mm（1/2年確率）

4時間雨量 124.11mm（1/10年確率）・79.89mm（1/2年確率）

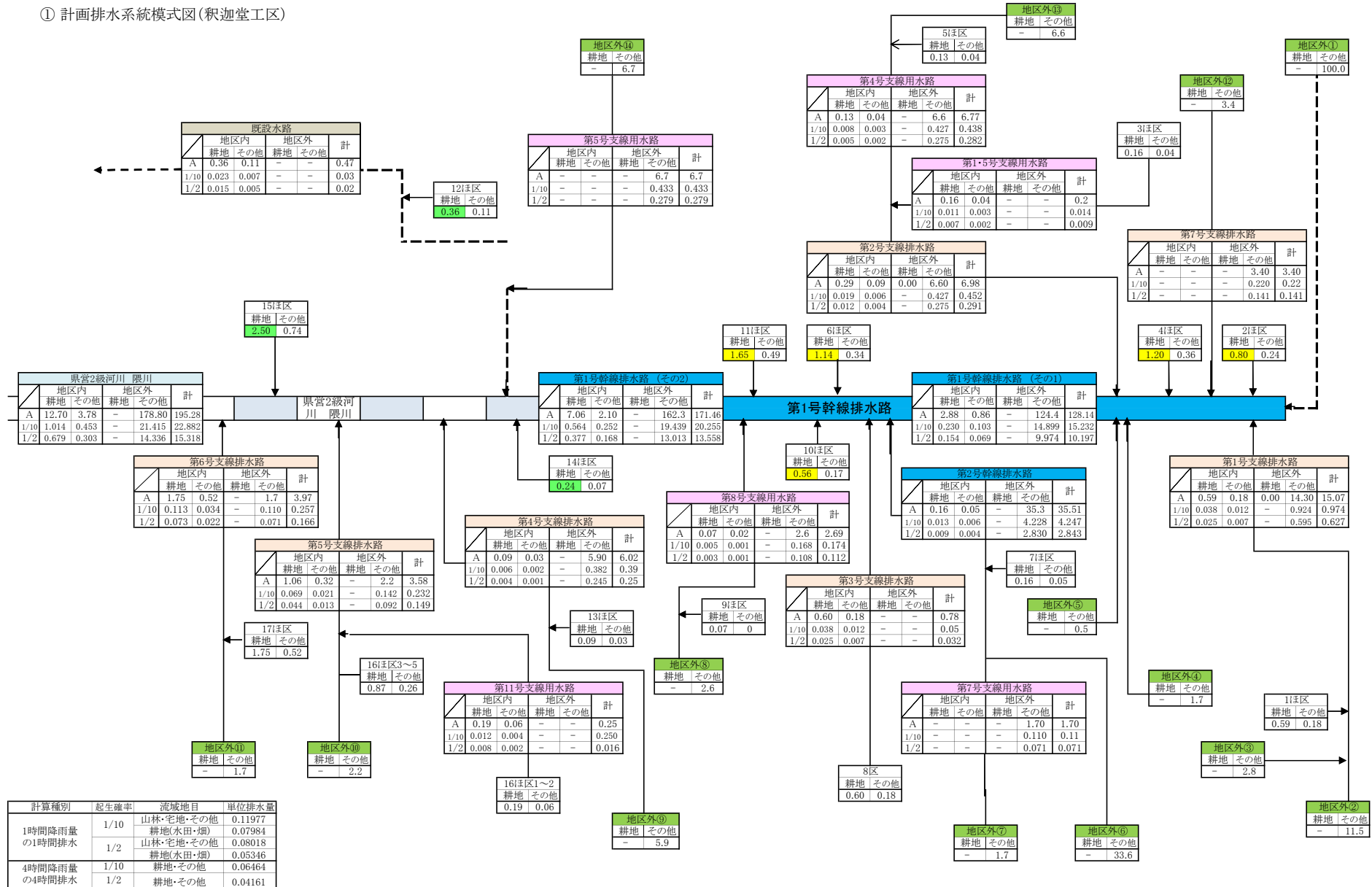
2. 計画排水方式

県営隈川、幹線排水路へ自然排水

3. 計画排水系統

別紙添付（P38-1）

① 計画排水系統模式図(釈迦堂工区)



4. 計 画 排 水 量

(第 1 1 表－ 1)

排水系統名 項 目	受 益 面 積 (ha)			流域面積		基準 雨量	降 雨 に よ る 直 接 単 位 流 出 量		基 底 流 出 量		全 排 水 量 (m³/s)			単位排水量		備 考
	事 業 名						(m³/s/km²)				山 地	平 地		(m³/s/km²)		
	区画 整理 事業		計	(km²)			山 地	平 地	山 地	平 地		山 地	平 地			
				山 地	平 地									山 地	平 地	
幹 線 排 水 路	5.0		5.0	0.020	0.054	71.9	11.98	7.98	-	-	0.240	0.431	-	11.98	7.98	第1～2号幹
						48.1	8.02	5.35			0.160	0.289		8.02	5.35	
支 線 排 水 路	3.5		3.5	1.790	0.038	124.1	6.47	6.47	-	-	-	0.246	-	6.47	6.47	第1～8号支, 取付
						79.9	4.16	4.16			-	0.158		4.16	4.16	
直接排水（河川）排水路	2.8		2.8													
計	11.3		11.3	1.81	0.09	-	31	24	-	-	0.400	1.124	-	-	-	-

5. 排 水 対 策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排水本川			備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						

該当なし

(2) 排 水 機

(第11表-3)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 機				備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台 数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計 排 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		区画整理事業		計							
幹 線 排 水 路	1.740	5.0		5.0	3.358	0.7	RC柵渠	隈川	-	-	第1・2号幹
支 線 排 水 路	0.511	3.5		3.5	2.023	1.1	U字溝 RC柵渠	隈川	-	-	第1～8号支
直 接 排 水 （ 河 川 ）		2.8		2.8				隈川			
計	2.251	11.3		11.3	5.381	1.8					

(4) そ の 他

該 当 な し

6. 湛水検討

該 当 な し

第5節 道 路 計 画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項 目 路線名	幅 (有効) × 延長 (m) (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
支 線 道 路	5.0 (4.0) × 2.5	碎石	-	第1号支線～第7号支線
耕 作 道 路	3.0 (2.5) × 0.3	碎石	-	第1号耕作～第8号耕作 取付1～2号道路

(2) 索道

(第12表-2)

項 目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考
		該 当 な し		

2. 路線配置図

別紙計画道路図参照 (P44-1)

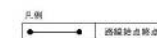


農業競争力強化農地整備事業
釈迦堂地区

計画道路図



凡 例		
区 分	変更後	変更前
道 路 工		
用水路工		
排水路工		



凡 例	説 明
	田
	畑
	森林
	水路
	排水路
	農用地
	農用地外
	農用地内
	農用地外
	農用地内

業務名	農業競争力強化農地整備事業		
地区名	釈迦堂地区		
図面名			
年月日			
縮尺	実尺	図面番号	15
作成者	福岡県土地改良事業関係者会		
発注者	筑後農林事務所		

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項 目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標 準 区 画 の 形 状	備 考
		該 当 な し			

(1) 末端道水路配置図

2. 土壌改良

(第13表-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)	土 壌 統(区)名	p H		置換酸度 (Y ₁)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備 考
			H ₂ O	KC 1			石 灰 (t)	りん酸質資 材 (t)	有機質資材 (t)	
				該 当 な し						

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該 当 な し

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地 点	流 域 面 積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調 節 量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調 節 後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の 差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)
該 当 な し										

3. 貯 水 池

(第14表-2)

項 目 貯水池名	流 域 面 積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯 水 量 (千 m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備 考
	直 接	間 接		有 効	洪水調節容量	他 目 的			
該 当 な し									

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なし

5. 管理計画

(1) 管理機構

該当なし

(2) ダム管理操作上の各種基準

該当なし

(3) 洪水調節要領

該当なし

第8節 干拓計画

(第15表)

項 目 名 称	延 長 (m)	計 画 高 潮 (水) 位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考
該 当 な し						

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

短辺 × 長辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
30×100	0.3	5.4	45	1m未満	
50×100	0.5	2.6	21	1m未満	
40×50	0.3未満	4.1	34	1m未満	畑地を含む
計		12.1	100		

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考

(3) 末端道水路配置図

該 当 な し

2. 暗 渠 排 水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項 目 区分	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{l}{s}$ /ha)	計画後の 地下水位 (m)	集 水 渠 出口以下 の 排 水 式	備 考
	事 業 名								
	区画整理事業		計						
本暗渠	3.3		3.3	灰褐色土壌群粘土質構造満俺型	251.50 153.90	3.47	0.6	自然排水	上段(1/10年確率) 下段(1/2年確率)
本暗渠	8.8		8.8	グライ土壌群粘土型	251.50 153.90	3.47	0.6	自然排水	上段(1/10年確率) 下段(1/2年確率)
計	12.1			12.1					

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項 目 区分	面 積 (ha)			土壌統 (区) 名	土壌硬度	備 考
	事 業 名					
			計			
	該 当 な し					
計						

3. 客 土

(第16表-4)

項 目 区分	面 積 (ha)		(土 区) 壤 名 統	減 水 深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客 土 量 (m ³)	土壌の性質		備 考
	事 業 名			現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地	採 土 地 (客土材料)	
		計									
			該 当 な し								
計											

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考
		該当なし		

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	
		該当なし				

(3) 浸食（崩壊）防止工

(第16表-5-3)

項 目 施設名	位 置	支 配 面 積 (ha)	機 能	備 考
		該 当 な し		
計				

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該 当 な し

(2) 計画洪水量

該 当 な し

2. 堤体補強計画

該 当 な し

3. 取水施設改修計画

該 当 な し

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名 称				位 置						
堤 体	型 式	流 域 面 積 (Km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤地質	貯 水 量 (千m ³)		備 考
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	
					該 当	な し				
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m ³ /s)	備 考	取水施設	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放 流 量 (m ³ /s)	
					該 当	な し				

2. 頭 首 工

(第 1 7 表－ 2)

名 称		位 置						備 考
型 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m³/s)	付 帯 施 設	
		固 定 部	可 動 部	計				
該 当 な し								

3. 揚 水 機

(第 1 7 表－ 3)

項目 名称	位置	揚水機 (m³/s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	
該当なし											

4. 用 水 路

(第17表-4)

水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理事業	計								
支線用水路	11.3	11.3	0.002～ 0.082	3.75		3.75	U字溝	1/500	—	
計	11.3	11.3	0.001～ 0.224	3.75	0.00	3.75	—	—	—	—

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項 目 名 称	位 置	型 式	構 造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m ³ /s)	備 考
	該 当 な し						
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項 目 名 称	位 置	排 水 量 (m ³ /s)	揚 程 (m)		排 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 ()	台 数 (台)	
	該 当 な し										
計											

3. 排水路

(第18表-3)

水路名 項目	受 益 面 積 (ha)			排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理事業		計								
幹 線 排 水 路	5.3		5.3	2.881～ 10.448	0.69		0.69	RC柵渠	1/450	-	
支 線 排 水 路	3.6		3.6	0.009～ 0.634	1.12		1.12	U字溝 RC柵渠	1/300	-	
直 接 排 水 (河 川)	3.2		3.2								
計	12.1		12.1	0.057～ 3.388	1.81	0.00	1.81	-	-	-	-

4. その他排水施設

該当なし

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項 目 路 線 名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考
		該 当 な し			

2. 索 道

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ()	
該 当 な し						

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

(第20表-1)

項 目 区 分	樹 種	樹 径 (cm)	ha 当 たり 本 数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該 当 な し			
計						

(2) 除 礫

(第20表-2)

項 目 区 分	対 象 土 層 の 厚 さ (cm)	ha 当 たり 標 準 除 礫 量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該 当 な し		
計					

(3) 開 墾 作 業

(第20表-3)

項 目		面 積 (ha)	工 法	備 考
区 分	地 目			
	造 成 工 法			
		該 当 な し		
計				

(4) 地 目 変 換

(第20表-4)

項 目	面 積 (ha)	工 法	備 考
区 分			
	該 当 な し		
計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
	該当なし			
計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
	該当なし			
計				

2. 土 壤 改 良

(第20表-7)

項 目 区 分	面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
		該 当 な し			
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名 称			位 置				計 画 洪 水 位 (m)	付 帯 施 設	備 考
			堤	長 (m)					
型 式	集 水 面 積 (km ²)	堤 高 (m)	固 定 部	可 動 部	計				
該当なし									

(2) 導水路

(第21表-3)

項 目	通 水 量 (m ³ /s)	堤 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	そ の 他	計			
水路名							
該当なし							

第6節 干 拓 施 設

1. 堤 防

(第22表-1)

項 目 名 称	型 式	延 長 (m)	構 造					原 地 盤 標 高 (m)		備 考
			堤 頂 標 高 (m)	盛 土 幅 (m)	盛 土 標 高 及 び 舗 装	上 流 斜 面	下 流 斜 面	平 均	最 低	
			該 当 な し							

2. 潮 止 め

(第22表-2)

項 目 名 称	工 法	幅 員 (m)	敷 高 標 高 (m)	潮 止 め 堤 標 高 (m)	最 大 流 速 (m/s)	床 固 め 構 造	備 考
			該 当 な し				

3. 付 属 施 設

該 当 な し

4. 埋 立

(第 2 2 表－3)

項 目 区 分	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m ³)	施 工 方 法	備 考
		該 当 な し			

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第 2 3 表－1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
釈迦堂	12.1	30m×100m (3000m ²)	18,150	12.1	18,150	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
支線用水路	3,746m	U-300B~U-600	U字溝 コンクリート柵工	
計	3,746m	-	-	

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
幹線排水路	693m	500×900~5,000×1,200	コンクリート柵工	
支線排水路	1,122m	U-300B・U-600 500×600~700×800	U字溝 コンクリート柵工	
計	1,815m	-	-	

2. 暗渠排水

(1)暗渠排水

(第23表-4-1)

項 目 区 分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下 の 排 水 施 設			備 考
	事業名																
	区画整理事業		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
E-42	8.8		8.8	1/250	VU管	50～65		1/500	有孔管	50～60	0.7	10	1,000				
G-61	3.3		3.3	1/250	VU管	50～65		1/500	有孔管	50～60	0.7	10	1,000				
計	12.1		12.1														

(2)心土破碎

(第23表-4-2)

項 目 区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

3. 客 土

(第23表-5)

区 分	項 目	面 積 (ha)		客 土 土 量 (m³)	土 取 場 土 量 (m³)	運 搬 距 離 (km)	運 搬 方 法	備 考
		事業名						
			計					
				該 当 な し				
	計							

4. 除 礫

(第23表-6)

区 分	項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該 当 な し			
	計					

5. 農地保全

(1) 防災林

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
			該当なし			
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
			該当なし	
計				

(3) 浸食防止工

(第23表-9)

項目 名称	構造	数量	備考
		該当なし	
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	型 式	流 域 (km^2)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m^3)	堤 頂 幅 (m)	貯水量 (千m^3)	備 考
		該 当	な し					
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m^3/s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m^3/s)	備 考
		該 当	な し				該 当	な し

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該 当 な し

(2) 漏水防止工

該 当 な し

第6章 付帯工事計画

該 当 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着工予定年度 …………… 令和 2 年度
完了予定年度 …………… 令和 9 年度

第8章 環境との調和への配慮

配慮の考え方

- ・ 工事実施前及び工事実施中に希少動植物を発見した場合は、近傍の生息可能域へ移動。
- ・ 工事実施に伴う土砂の流出を低減するため、適宜土砂たまり等を設け、下流への影響がないように配慮する。
- ・ 工事車両によるロードキルを軽減するため、工事事業者に対して減速等の配慮を周知するなどの工夫を行う。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

各農家の各所に分散する農用地の集団化、その他農業構造の改善及び処分の早期完了を図るため、工事着手前において換地計画に関する基礎調査及び換地設計基準を作成し、換地区全域の換地計画原案を作成する事前換地とする。なお、換地計画原案樹立にあたっては、地区内農家の意向を反映し、地域における農業振興計画及び土地利用計画との調整を関係機関と十分協議し作成する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
釈迦堂	福岡県大牟田市大字宮崎外	16.2

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地区計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
釈迦堂	換地交付の基準とする従前の土地の地積は土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から2ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合はその地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位：ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地												機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計
		田	畑	山林 ・ 原 野	その他	通常事業施行 地域に含める 土地(令第1条 の9()書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			創 設 農 用 地 計	合 計	特定用途 用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国	県	市 町 村 他	合 計			
						施 土 地 改 良	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	計			宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 地 合 理 化	施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 用 地	必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 施 設 用 地						宅 地 等		
釈迦堂	従前の土地	12.5	0.8	—	—	—	—	—	13.3	—	—	—	—	13.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	2.9		16.2
	換地	11.3	0.8	—	—	—	—	—	12.1	—	—	—	—	12.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1	4.1		16.2
	従前の土地																														
	換地																														
	従前の土地																														
	換地																														
	従前の土地																														
	換地																														
	従前の土地																														
	換地																														
合計	従前の土地	12.5	0.8	—	—	—	—	—	13.3	—	—	—	—	13.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	2.9		16.2
	換地	11.3	0.8	—	—	—	—	—	12.1	—	—	—	—	12.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1	4.1		16.2

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区 分 換地区名	地帯別・グループ別団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 の 選 択 方 法	一 戸 当 り 目 標 団 地 数	区 画 畦 畔 の 取 り 扱 い
釈迦堂	集落別集団化 作物・地目別集団化 担い手別集団化	換地は、原則として各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に集団化する。	1～2	畦畔は、配分面積に応じて移動して定めるものとする。畦畔の設定にあたっては、原則として短辺が10m以下となるような設定はしない。

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区 分 換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (㎡)	換 地 の 手 法	換地取得予定者	そ の 他
釈迦堂						
	合 計		0			

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

項目別配点方式

2. 清算の方法

比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区 分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考
釈迦堂	令和4～5年度	令和8年度	令和8年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項本文の規定に関わらず換地処分を行うものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

区画整理工

(第26表)

事業名		区画整理事業	備考
区分		(百万円)	
	工事費	598	
	工事雑費	5	
	地方事務費	30	
	計	633	
(関連事業 参考)			

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項目	年 総 効 果 額	年 総 増 加 所 得 額	備考
	区分	(千円)	(千円)	
区画整理事業	作物生産効果	27,527	56,923	
	営農経費節減効果	7,827	8,258	
	維持管理費節減効果	△ 616	187	
	地籍確定効果	553	-	
	国産農産物安定供給効果	8,989	-	
	計	44,280	65,368	

〈参考〉

総費用： 808,962 千円

総費用総便益比： 1.21

総便益額： 985,053 千円

第12章 関連する事業

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
	該当なし			

第13章 現況・計画図面

1. 現況平面図

添付図面参照

2. 計画平面図及び土地利用計画図

添付図面参照

3. 主要構造図

添付図面参照